

# 食の安全・安心に係る県民アンケート調査結果

和歌山県環境生活部県民局 食品・生活衛生課

## 1 調査の目的

「食」は生命の根源であり、人間の健康の維持に欠かすことのできないものです。しかし近年では、食に対する不安や不信が高まっています。このような中、県民の皆さまが、「食」についてどのような意識をお持ちなのかを把握し、今後の施策に反映させていくことを目的としてアンケート調査を実施しました。なお、同様の調査は3年ごとに実施しています（今回は6回目）。

## 2 調査期間

平成30年7月1日～平成30年11月11日

## 3 調査項目の概要

- |                                |          |
|--------------------------------|----------|
| ( 1 ) 食品に対する不安の有無とその要因         | <問1~問2>  |
| ( 2 ) 食品購入の基準について              | <問3>     |
| ( 3 ) 食品表示について                 | <問4>     |
| ( 4 ) いわゆる健康食品に対する考え方          | <問5>     |
| ( 5 ) 鶏肉の生食に対する考え方             | <問6>     |
| ( 6 ) 食の安全に関する知識について           | <問7>     |
| ( 7 ) 食の安全・安心に関する情報について        | <問8~9>   |
| ( 8 ) 「食の安全・安心わかやま」メールマガジンについて | <問10~11> |
| ( 9 ) 食品に関する認定・認証制度について        | <問12~13> |
| ( 10 ) 食の安全・安心確保のために重要な県の取組    | <問14>    |

## 4 調査の概要

### ( 1 ) 調査対象者・調査方法・回答者数

調査対象者：日常的に食品を購入されている県民の方

調査方法：①わかやま食の安全サポーター\*1等を調査員として、居住地域や職場などにおいてアンケート用紙の配付・回収をお願いしました。

②当課ホームページ上で、アンケートに回答していただきました。

③その他、和歌山県消費生活サポーター\*2、和歌山県食品表示ウォッチャー\*3、食に関するイベント、研修会等参加者等にアンケートへの回答を依頼しました。

回答者数：1,277名

#### \*1 「わかやま食の安全サポーター」

県民の食への関心を高め、食の安全や食生活の改善に関する知識等の普及を図り、消費者の自立を支援していただくために県が登録した方。

#### \*2 「和歌山県消費生活サポーター」

地域における啓発活動の担い手（消費者リーダー）として、身近な方に消費生活情報を伝達して消費者被害にあわないよう、地域で見守り活動をおこなっていただくために県が登録した方。

#### \*3 「和歌山県食品表示ウォッチャー」

食品表示の適正化を図るため、日常生活の中で、消費者の方が買い物の際に食品の表示をモニタリングしていただくために県が依頼した方。

( 2 ) **調査結果の見方**

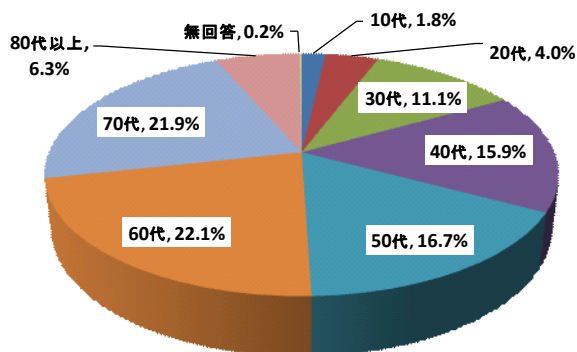
- ア. 回答の構成比 (%) は小数点以下第 2 位を四捨五入したため、比率の合計は、100%にならないことがあります。
- イ. グラフの中で「N」とあるのは、その質問の回答者の総数（無回答含む）を示しています。
- ウ. 複数回答の質問については、その回答の構成比の合計が100%を超える場合があります。

## ○調査対象者の概要 (N=1,277)

### A. 年齢構成

10代* : 1.8% (23人)	20代 : 4.0% (51人)
30代 : 11.1% (142人)	40代 : 15.9% (203人)
50代 : 16.7% (213人)	60代 : 22.1% (282人)
70代 : 21.9% (280人)	80代以上 : 6.3% (81人)
無回答 : 0.2% (2人)	

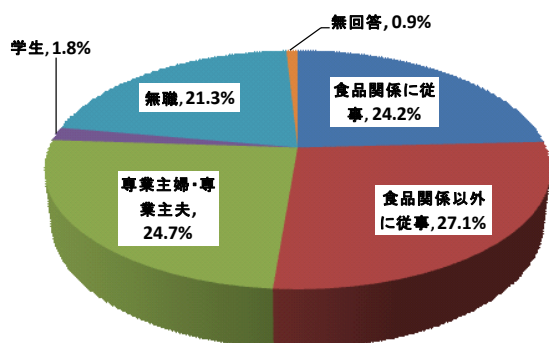
\*10代は、15歳～19歳。



### B. 職業別構成

食品関係に従事* : 24.2% (309人)
食品関係以外に従事 : 27.1% (346人)
専業主婦・専業主夫 : 24.7% (316人)
学 生 : 1.8% (23人)
無 職 : 21.3% (272人)
無 回 答 : 0.9% (11人)

\*農業、漁業、畜産業、  
製造加工業、販売業、外食産業



### C. 地域別構成

和歌山市 : 29.9% (382人)
海草地区 : 4.6% (59人)
那賀地区 : 17.0% (217人)
伊都地区 : 8.2% (105人)
有田地区 : 8.3% (106人)
日高地区 : 9.8% (125人)
西牟婁地区 : 5.9% (75人)
東牟婁地区 : 16.1% (205人)
無 回 答 : 0.2% (3人)

